

《全自連、千代田区の自転車施策》 真の自転車文化を定着させる！ 基本政策は「か・き・く・け・こ」



千代田区長
石川雅己

「自転車・バイク・自動車駐車場 パーキングプレス」誌 発行人
森井博

【プロフィール】

石川雅己(いしかわ まさみ)
昭和38年4月、東京都庁に入庁。住宅局、千代田区企画部企画課長、生活文化局主幹、港湾局長、福祉局長など歴任。平成11年6月、首都高速道路公団理事に就任。平成13年2月、千代田区長選で初当選を果たし、以降現在まで4期連続で区長を務めている。

2016年の最後にお迎えしたゲストは、今年5月、全国自転車問題自治体連絡協議会の会長に就任した石川雅己氏だ。我が国の中枢機関が集中する行政区・千代田区の区長を平成13年から4期連続で務めておられ、シェアサイクル「ちよくる」の推進役でもある。ひいては千代田、港、中央、江東、新宿の都心5区相互乗り入れシェアサイクルのキーマンも兼ねるわけで、我々の業界にとって最も重要な人物の一人であるのは間違いない。

快適な走行環境の拡大、駐輪場やシェアサイクルポートの確保など諸問題を解消する自転車政策に関して大きな発信力を持つ石川氏に、最新の取り組みや課題、目標などをうかがった。
(対談収録 2016年11月4日)

鉄道事業者に働きかけて 駐輪場の数を 増やしていきたい

森井 全自連といえば、平成4年に自転車を交通体系の中に位置づけ、国をあげた取り組みを推進することを主な目的に出発された団体です。会長として、ここまでに全自連が成し遂げてきた具体的な成果や、現時点で得ている自転車問題解消への手応えなどをお聞かせください。

石川 全国に80万台を越える放置自転車が一向に解消しないことを受け、東京特別区の自転車対策を担当する課長会が中心となった活動が出発点です。東京以外の大都市でも同様の問題を抱えているだろうということで他の自治体にも呼びかけ、現在では全国で約120の自治体が集まる団体となりました。ほぼ四半世紀が経過し、おかげさまで放置自転車台数は減少の一途をたどっております。

森井 直近の台数は。

石川 約8.1万台で全自連発足時に比べるとおよそ10分の1まで減少しました。

森井 素晴らしい数字です。さまざまな施策を実行し続けた結果だと思いますが、なかでも何がポイントになりましたか。

石川 まずは駐輪場の数を増やし、そちらに駐輪を誘導していったことですね。そして、それでも放置されている自転車に対しては撤去の手段を講じて対応していきました。その両輪で取り組んできたことの成果だと思っています。ただし、最近では"限界"に近いのでは、とも考えているのですが。

森井 限界といえますと？

石川 特に大都市の場合は駐輪場を新設しようにも、スペース確保が極めて困難になっています。行政だけでは手が足りないため、民間、あるいは鉄道事業者などにも協働いただくことを進めていくべきではないかと考えます。

森井 大都市の場合は公共交通として鉄道が発達しており、自転車利用者は昔も今も駅前に集まってきます。やはり鉄道事業者の協力は不可欠ですね。

石川 そのとおりです。今年5月の総会における会長就任時の挨拶でも申し上げましたが、国政、関係者の皆様には、鉄道事業者さんに対して駐輪場の付置義務を課すようなことを強く働きかけていたきたいと思います。現在、大規模な業務系、商業系施設には自動車駐車場の付置義務が課せられていますが、いずれは自転車の駐輪場も同様に付置義務が課される時代が来るかもしれません。その流れで言えば、鉄道事業者さんにもぜひご協力いただきたいと考えています。

自転車を使う意義を きちんと知ってもらうことが 行政の取り組みを円滑にする

森井 駐輪場確保以外にもさまざまな問題があると思います。どのような姿勢で取り組むお考えですか。

石川 いろいろな課題に対して、私は自転車政策を「か・き・く・け・こ」に集約して展開していきたいと考えています。これは全自連だけでなく千代田区の自転車政策においても共通しています。

森井 非常に印象的なフレーズですね。内容を教えていただけますか。

石川 まず「か」は「環境」と「観光」に深く連動していることに由来しています。化石エネルギーに一切依存しないわけで、すし、自在に観光地巡りをすることができるからです。

森井 「き」は。

石川 共同利用から来ています。シェアサイクル「ちよくる」しかり、他区のシェアサイクルもまたしかり。ひとりひとりが所有するのではなく一台をシェアすることが時代のトレンドになりつつあります。カーシェアリングもあちこちで見かけるようになっていきますね。

森井 なるほど。続いて「く」は。

石川 クリーンです。排気ガスを出さないだけでなく、何より放置自転車がないうちは非常にクリーンな景観になります。



左／ちよくるを含めた都心5区のシェアサイクルは認知度が徐々に上昇中 右／区内では自転車走行空間の整備も進む(千代田区広報広聴課)



り、実際に自転車を通じて知り合う機会を得た方も多いと思います。

森井 そうしたことから「かきくけこ」と命名されたわけですね。分かりやすく、印象に残ります。

石川 放置自転車問題が縮小する一方で、自転車の普及はかつてに比べると進んできたのは事実です。しかし、私にはまだ不足していると思います。例えばシェアサイクルを大規模に展開し、自転車走行環境もかなり整備されている海外の諸都市では自転車が「文化」として認識されていると思いますが、残念ながら日本はまだそのレベルに至っていません。

森井 そうですね。自転車問題が発生した後、対策を打つことはもちろん大切なのですが、そもそも何故自転車を使うべきなのか、使うとどのようなメリットがあるのかといった理屈を先に頭に入れていただき、それをふまえて自転車を使っていれば問題が起きる可能性も減るのではないかと思います。その点でいうと「かきくけこ」は子どもからシニアまで幅広い世代の心に刺さる良いキャッチフレーズだと思います。

石川 ありがとうございます。

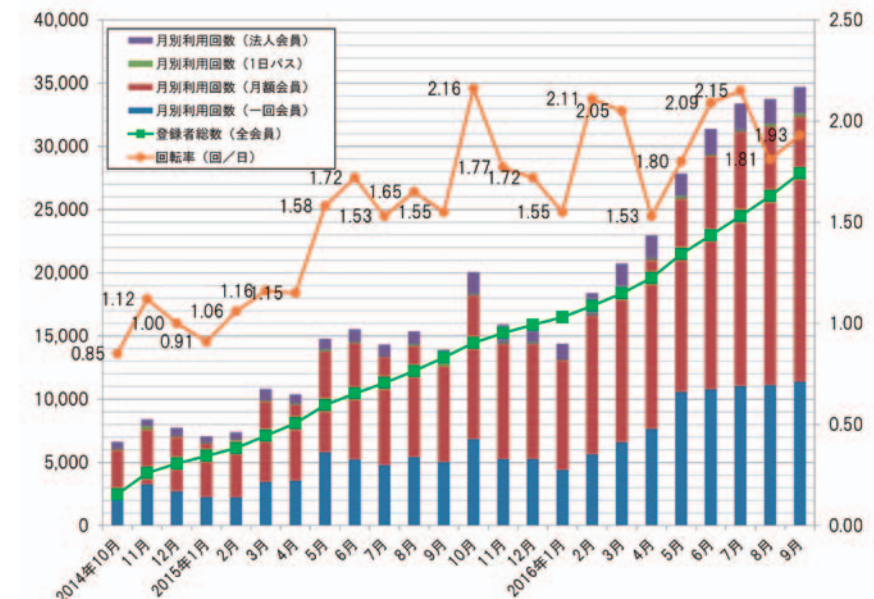
トライを繰り返し 失敗に学びながら 新しい価値観を作る

森井 続いて全自連から千代田区の自転車行政に特化していきたいと思います。実証実験として2014年10月にサービスを開始した「ちよくる」は現在、都心5区の自転車シェアリングにおいてまさに都心中の都心に位置する中核とし、重要な役割を担っています。ここまでは順調に稼働していると思いますが、あえて課題をあげるとすれば何が挙げられますか。

石川 やはり新たなポートのスペース確保ですね。シェアサイクルを効率的に利用いただくことを考えると、およそ300mの間隔でポートを設置することが理想的と言われますが、それを実現するためには、やはり歩道の一部をポートに充てることも必要になってきます。しかしご存じのとおり、道路管理者や交通管理者との折衝はそう簡単にはいきません。

森井 おっしゃるとおりですね。
石川 また、千代田区内は大きなオフィスや商業施設などのビルが多く、足元には公開空地が備えられているケースがあるため、千代田区は、そこをちよくるの

●順調に実績を積み重ねる「ちよくる」



2016年2月から都心4区で相互乗り入れが始まったこともあり、今年5月以降の伸びが著しい(千代田区環境まちづくり部)

ポートに使わせて欲しいと考えています。しかしビルのオーナー企業は首を縦に振ってくれません。なかには協力いただける場合もあるのですが、ポートとして提供するにしても場所はビルの裏側をお願いします、といった返答も多いです。ポートが増えるのはありがたいのですが、私としてはできるだけ公開空地の人目につきやすい場所や先に申し上げた歩道などにポートを置きたいと思っています。

森井 そのほうがアピールになりますし、借りやすい・返しやすい環境づくりにつながりますからね。千代田区内において歩道や公開空地にポートを確保するのが難しい理由は、歩行者の安全を阻害するなどの懸念が挙げられるのでしょうか。

石川 その要因は大きいですね。また、自転車置き場が目につくられると景観が美しくなくなると考えられるケースもあるようです。事実、現在、都心の主な繁華街、ショッピングストリートには歩道上の自転車置き場がほぼ皆無ですし。

森井 欧米のシェアサイクルでは駐輪スペースを車道上の歩道寄りに設けるケースをよく見かけますね。そもそも自転車は車道の歩道寄り走行が大原則なわけですから、今後は日本でも車道の左側に目を向けるべきだと思います。まだ根

強く残っているパーキングメーターを撤去して、そこにできたスペースを活用するとか。

石川 千代田区内の広幅員の道路の左車線にもまだパーキングメーターは多いです。確かに森井さんが言うとおりがそこがシェアサイクルのポートに転用できるというのですが、反面、パーキングメーターを使っている側、特に運送業者にとっては荷捌きスペースがなくなるという問題が出てきます。

森井 そのとおりですね。これは本当に難しい問題です。現状に対しては例えば荷捌き時間、走行レーンとして使える時間などをシェアする策も考えられます。こういうことはすべての場所で一気に変えられるものではないので、段階的に講じていくべきなのでしょう。

石川 そうですね。自転車に限りませんが長年続いている慣習や既得権を変えていくにはとにかく時間がかかります。それを念頭に入れて少しずつでも手を動かしていくことが大切ですね。

森井 おっしゃるとおりですね。

石川 日本は社会が慎重過ぎるのか、環境をパーフェクトに整えてからでないと新しいことに挑戦しづらい、といった風潮があります。しかし、それではいつま



でたっても進展はありません。トライを繰り返し、失敗に学びながら新しい価値観を作ることが最善の道だと思います。

文化資源の「見える化」で さらにインバウンド誘致 シェアサイクルの活性化も

森井 では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに関して聞かせてください。千代田区には観光名所も数多く有り、いままで以上に海外からの観光客が集まることが予想されます。どんな対応を考えていらっしゃるのでしょうか。

石川 既にいくつかの対策を進めていますが、なかでも重視しているのが区内の文化資源の「見える化」です。

森井 どのような内容ですか。

石川 区の豊かな文化資源を観光資源として広く紹介できるように、標柱や説明板などの文化財標識類、ガイドマップや案内図、ホームページの設置や整備、さらにWi-Fiスポットの増設などICT技術も活用して、統一感があり、分かりやすいものに改めていく取り組みです。もちろん多言語表記など国際化にも対応していきます。何を「見える化」すべきか、その対象や基準、手法などについては民



多様な観光名所が集積し、国内外の観光客が多い。左上から時計回りに、皇居二重橋、東京駅、神保町の古書店街、秋葉原、ニコライ堂(千代田区広報広聴課)





国指定文化財（旧江戸城外桜田門）

区内には国や都、区が指定する文化財が約280件と豊富で、文化資源の総数は約1,500件。この中から「見える化」するものを選定する（千代田区文化振興課）



都指定文化財（旧日比谷公園事務所）



区指定文化財（紀尾井町遺跡出土紀州藩邸関係資料）

間からも提案を受けて、オリンピック開催年に向けて計画を進めています。

森井 なるほど。整備が進めばより多くの外国人観光客が集まりそうですね。Wi-Fiスポットの増設も実用的です。

石川 Wi-Fiについてはシェアサイクルのポート、特に駐輪台数の多い大規模なものについては設置しても良いのかなと思います。賑わいが生まれますし、利用者同士の情報交換などネットワークも広がることに期待できますから。さらにいえば自転車本体も最先端のICT技術を導入して、さらに利便性を上げていくことも考えられますね。

森井 例えばどんなプランでしょう。

石川 自転車に積んだ端末で、見える化された文化資源がどこにあるかを示す位置情報や、文化資源の概要などが確認できたりするといいかもしれません。

森井 なるほど。デンマークでは既にシェアサイクルのハンドル部分にタブレットを搭載し、そこで観光情報、地図情報などをチェックできるシステムもあります。現在の都心5区のシェアサイクルはドコモ・バイクシェアさんが運営しているわけで、おそらく技術的にはさほど難しいことではないでしょう。

石川 そうですね。ただタブレット搭載についてはコストのことも気にしなければなりません。イニシャルはもちろん

ん、ランニング、メンテナンスなどかなり高くつくことが予想されます。

森井 はい、聞いたところではハイコストになり、ほとんど利益は上がらないとの話でした。ただ、こうしたICT技術導入以前にシェアサイクルは元来、儲かる商売ではありません。日本に限らず海外でもそうだと思います。24,000台規模で展開するバリのヴェリブも広告の権利をすべて譲渡するから、その代わりに運営してくれなど、反対給付がないと回っていかないのが現状であると聞いています。

石川 なるほど。

森井 もっとも、私はシェアサイクルは公共交通に位置づけられるべきもので、利益が出る・出ないの優先度は低いと考えています。ですから現在都心で行われているシェアサイクルの相互乗り入れシステムも、将来的には東京都がイニシアチブを握って運営していくべきではないかと思うのです。

石川 そうですね。もともとは都政が主導していくべきという考えはあったのですが、実際検討してみると、どの局が先頭でコントロールしていくかが決まらなかった経緯がありました。そこで各行

政区別にシェアサイクルを始めて、現在の相互乗り入れが行われているわけです。ただ、将来は森井さんが言うとおりの、本来的には都が先頭に立ってまわしていくのが筋だと思います。

森井 ここはやはり、石川区長が中心になって突き上げていくべきでは？

石川 いやいや、そんなことはないでしょうけど(笑)

自転車問題の解消は全国初「路上禁煙条例」の成功にカギがある

森井 ところで、千代田区さんは平成11年に全国に先駆けてタバコのポイ捨て条例をスタートさせ、平成14年からは路上禁煙地区で喫煙した人に2,000円の過料処分を適用した実績があります。この取り組みが契機になり、今や路上での禁煙は都市部では当然のことになりました。このように全国的に非常に大きな影響力を持っている千代田区さんだけに、対談冒頭でおっしゃられた「かきくけこ」をスローガンとして自転車文化を成熟させていく取り組みも、近い将来、定着していくのでは、と期待をしています。

石川 今では区内が全面的に路上禁煙地域に指定されていますが、当初からそうだったわけではなく段階的に禁煙地区を広げていきました。ポイ捨てがひどい駅周辺などから指定しまして、東京駅の周辺や丸の内の仲通りなどは路上禁煙地域ではありませんでした。それらの地域では禁煙とされることに大きな抵抗があ



路上禁煙条例のさらなる認知を図るため、ティッシュを配るキャンペーンも行っている（千代田区広報広聴課）

り、土地の価値が下がってしまうのではないかと反対されたからです。

森井 10数年前ですから時代は違うのかもしれませんが、それにしても路上禁煙地域に指定されることに抵抗を示していたというのは信じられないですね。

石川 はい。しかし、1～2年も経つとそれらの地域でも「禁煙地区に指定してほしい」との要望が出てくるようになり、続いてその周辺からも続々と禁煙地域にしてくれ、との声が届くようになりました。タバコの吸い殻が落ちていない街のほうが格段に美しく、安全で、ステイタスも高いという新たな価値観に気が付いてもらえたわけです。

森井 なるほど。

石川 路上禁煙条例を開始に向けて、私は職員と一緒に区内の主要駅の前で吸い殻を拾い集める作業に何度も従事しました。実践した結果、小一時間で家庭用ゴミ袋の半分以上が吸い殻になるなど、想像以上に深刻だと分かったんです。

森井 区長自ら取り組まれたわけですね。

石川 そうしないと実態が分かりませんからね。ただ、条例施行後も評価は真つ二つに分かれていました。特に多かった



対談は千代田区役所内の応接で行った。独自のキャッチフレーズに基づく自転車政策の数々から大いに刺激をもらうことができた

のが「行政はアドバルーンは盛大に打ち上げるが、後は尻すばみになって民間に押し付けるのでは？」といった声だったのです。そんなことは絶対ありませんと本気度を示すために、係長以上の役職にはっぱをかけて積極的にキャンペーンなどを展開していったことも、条例が定着する要因だったと思います。

森井 千代田区さんのそうした実績は、目下は簡単ではないシェアサイクルポートの用地確保やパーキングメーターの撤去問題なども良い方向に進むのでは？と

いうポジティブな予感を与えてくれます。

石川 そう言っていただけるのはありがたいことです。先に申し上げた「かきくけこ」を基本にして、地道に自転車政策に取り組み、自転車が文化として根付く社会にしていければと思います。

森井 私も微力ながらそのお手伝いをしていきたいと思います。本日は全自連会長・千代田区長、両方の視点からさまざまな自転車問題への取り組みをお聞きすることができ、大変勉強になりました。誠にありがとうございました。 **PP**

【パーキングプレス 発行人】森井 博のプロフィール

- 一般社団法人 日本パーキングビジネス協会 理事長
- 一般社団法人 自転車駐車場工業会 会長
- 一般社団法人 日本シェアサイクル協会 専務理事
- 東京八重洲ライオンズクラブ 会員
- 六本木男性合唱団 団員
- サイカパーキング(株)、日本駐車場救急サービス(株)、モリスコーポレーション(株) 夫々代表取締役CEO

【略歴】 1938年（昭和13年）宮崎県延岡市生れ78歳。
1957年（昭和32年）石川県立金沢泉ヶ丘高校卒
1961年（昭和36年）東京商船大学（現東京海洋大学）卒
1961～1979年 石川島播磨重工業（現：IHI）
1979～1991年 東芝
1991年～ 現職

【趣味】 現在：ゴルフ・車・自転車・歌・仕事
過去：水泳・野球・陸上競技・テニス

【遍歴】 ゴルフ：毎週1回ホームコースでラウンド、週1～2回練習場通い。車：毎日通勤で運転。中古車3台を大切に乗り廻す。自転車：マツダレベル、ブリヂストンモールトン他数台保有するも年齢を考え余り乗らない。歌：六本木男性合唱団でロクに楽譜も読めないのに毎週(?)練習に励む。仕事：健康のため平日は毎日9：00～17：00出勤、社員に迷惑をかけている。但し、土、日、祝日は絶対に出勤しない。水泳：漁港で漁師の子供達と一緒に育ったため、小学校に入る前から泳ぎは得意。ちなみに小学校の名前は港小学校。野球：中学生までは本気でプロになるつもりであった。少年野球町田玉川チームコーチ6年間。元西鉄ライオンズ 故・稲尾和久投手、完全試合投手 田中勉、元巨人 淡河弘捕手は友人。元巨人監督 原辰徳氏の父 故・貢氏も友人でボクサー犬を貰った仲。陸上競技：高校時代 短距離、やり投げ、インターハイ2回出場。東京陸協元会長でオリンピック3回出場の大串氏は友人。テニス：元デ杯選手 本井満氏のコーチでかなりの腕前(?)になるも、45歳時アキレス腱断裂でプレー終了。

過去の対談ゲストの方は、WEBでご紹介しています

パーキングプレス 対談 で検索

または <http://www.parkingpress.jp/taidan/> にアクセス

対談記事のバックナンバーもご覧いただけます。

